

平成28年度 堺リベラル中学校 学校自己評価書

<p>目指す学校像</p>	<p>建学の精神である「愛と真実の教育」「情操豊かな女子教育」を基本に「明朗な女性の育成」「知性豊かな女性の育成」「実行力のある女性の育成」という教育方針のもと「基本的な生活習慣の確立」「自己表現能力の向上」「将来に向けての基礎学力の養成」の実現を目指す。 サンライズコースは、外部の国公立・私立高校合格のためのカリキュラムを組み、さらに自己表現能力の向上も目指す。 サンシャインコースは、楽器・ダンス・演技などの自己表現能力を伸ばし、3年後に併設高等学校の表現教育科へ進学し、夢を大きく広げることを目指す。</p>
<p>重点目標</p>	<p>知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を行うことを目標に具体的には以下のとおり取り組む。 ・サンライズコースは、外部の国公立・難関私立高校受験のためのカリキュラムを組んで授業を行いコミュニケーション能力などの表現能力を育む。 ・サンシャインコースは、選択教科等でダンス・楽器演奏・演技実習を行い、自分の気持ちを表現させ、自己表現能力を育む。 ・両コースとも英語教育では、発音記号を用いての発音指導やネイティブの講師による英会話を取り入れ、グローバルな感性を養います。 ・両コースとも道德等の時間を使い、マナーや礼儀作法を身につけさせる。 ・両コースとも通常授業に加えて、補習授業や外部模試・各種検定試験対策講座を取り入れたサポート体制を実施していく。 ・高校進学については、目標校に一人でも多く合格させ、多感で急成長を遂げていく生徒達の才能を引き出し、夢を育ませる。</p>

28年度の取組内容及び自己評価

教員アンケートからの達成度 A・・・80%以上 ほぼ達成
B・・・60%以上 おおむね達成
C・・・40%以上 やや不十分

中期的目標	重点目標	具体的な取組内容	達成度	自己評価・次年度への課題
<p>1. 教育活動と確かな学力の育成 (教育充実のための取組)</p>	<p>・学力の向上(生徒の実態に応じた授業方法の確立) ①学習指導計画の確立 ②個々の学習状況に応じた学習指導</p>	<p>年間授業時数の確保・学校行事等が一定の曜日に偏らないよう配慮する。 90%達成を目指したが難しかった。一部の教科を特別授業でおこなった。</p>	<p>A</p>	<p>昨年同様、月曜日・土曜日が祝日や学校行事のためこの曜日にある教科の授業数確保が一部難しかった。年度末に特別授業として授業数の足りない教科の授業を入れて確保した。来年はぜひとも90%達成を図りたい。</p>
		<p>シラバスによる教科・科目の指導目標の達成を目指す。 目標としていた80%達成を目指した。</p>	<p>A</p>	<p>上記の授業時数にも関わらず、進度計画の内容を吟味する中で副教材の利用等を改善できた。さらに副教材の使用を吟味し、達成度A段階を維持していきたい。</p>
		<p>外部テストの対策講座や進学用補習を計画的に行う。 80%達成を目指した。</p>	<p>A</p>	<p>模擬テストの対策・英検の対策はできた。昨年の課題として早くから時間割の計画をたて、習熟度別に行うことが出来るよう取組み、改善できたので90%達成を目指す。</p>
		<p>中間考査・期末考査で基準点がとれなかった生徒の居残り補習の実施。 昨年同様90%達成を維持した。</p>	<p>A</p>	<p>長期休暇も含め補習ができたので、さらに充実したものにすする。居残り補習と対策講座の両立できるように工夫できるように改善していきたい。90%達成を来年度も維持したい。</p>

中間的目標	重点目標	具体的なとりくみ目標	達成度	自己評価・次年度への課題
1. 教育活動と確かな学力の育成 (教育充実のための取組)	③指導方法の工夫・改善 ④不登校対策の充実	早朝テストのやり直し確認と再テストの徹底実施。昨年の課題であった90%達成を目指した。	A	放課後の習い事等の活動をしている生徒も再テストを優先するよう指導した。引き続き継続し、より定着したテストにすることができた。90%をひきづき達成していきたい。
		発音記号に基づく発音指導と辞書引きの徹底指導 100%達成を目指した。	A	今後も辞書引きを競争させたりするなど、発音記号についてもより興味を引くよう工夫が必要と思われる。1年から3年まで徹底指導することが、ほぼ100%達成できた。
		英語検定の対策講座の実施と英語検定の全員合格を目指した。 60%達成を80%達成に変更した。	B	合格率をあげるため、昨年から全員受験を9月から2月に変更し、冬休みの課題や対策講座の内容を改善したが目標を達成できなかった。来年度は何とか80%合格を目指したい。
		外国人講師による英会話授業の充実と日常的な会話指導の実施。 引き続き80%以上の達成を目指した。	A	積極的にスピーチコンテストに参加させ、より充実した内容にしたい。校内スピーチコンテストも好評であった。80%を90%達成にしたい。
		勉強合宿において習熟度別授業を実施した。できれば外部模試対策講座にも取り入れていきたい。達成度Aを維持したい	A	外部テストの偏差値をもとに三グループにわけて実施できた。目標であった達成度Aを達成できたが、対策講座だけではなく、さらに充実した授業を目指していきたい。
		不登校生徒の援助・指導・対策の取組み。不登校生徒の指導マニュアルにそって指導する。80%を目指した。	B	入学後、不登校の改善は見られるが、日常的に登校できるところまで至らない。また学力補充の面はまだ課題が多い。マニュアルそって改善する。次年度は80%を目指したい。
1. 教育活動と確かな学力の育成 (教育充実のための取組)	⑤あいさつの習慣化 ⑥人権意識の育成	登下校の挨拶や学校行事での礼儀指導の徹底。外部からの来客者にも進んで挨拶を行う。達成度100%を目指した。	A	学校行事(林間学校・修学旅行等)での挨拶の更なる徹底とスクールバス内や外部の来客者へのマナーを向上させる。達成度100%を目指したが昨年同様90%止まりであった。
		私の主張コンクール等を通して自己表現プレゼンテーションの能力を身につけさせる。達成度90%を維持したい。	A	私の主張コンクール・文化発表会でほとんどの生徒が自己表現ができた。校内スピーチコンテストを実施するなど充実をはかった。90%を維持していきたい。
		「堺っ子」新聞の人権作文に全員応募させ、人権の視点や知識を持たせる。今年度は達成度80%を90%したい。	A	人権作文は全員提出できたが、次年度にむけて仲間作りや周囲にいる人々のことを思いやる気持ちをいっそう養いたい。昨年同様、達成度80%を90%にしたい。
		7年間続けているエコキャップの推進活動を行う。年2回から学期ごとに回収することに変更し、100%を目指した。	A	昨年同様、エコキャップ推進活動の意味をしっかりと理解させるとともに、クラス対抗などマンネリ化をふせぐ取組みをしたい。来年度も達成度90%を100%達成にしたい。
2. 学校としての組織的対応	・学校情報の発信と保護者とのコミュニケーションの充実	授業参観および保護者会総会・役員会の実施。今年度は講演内容も充実させたい。達成度90%以上を目指した。	A	保護者との協力関係は不可欠なので、役員会・総会等も教員と保護者がもっとコミュニケーションがとれるようにしたい。来年度も達成度A維持したい。
		個人懇談を3回実施し、保護者とのコミュニケーションの機会を持ちたい。80%の達成度を90%に上げたい。	A	昨年から個人懇談を4回に増やし、1回分は入学当初に実施し、小学校時代のことを把握していったが、懇談以外の交流する機会を設けるなど達成度90%を維持したい。

中間的目標	重点目標	具体的なとりくみ目標	達成度	自己評価・次年度への課題
2. 学校としての組織的対応	①保護者との連携 ②教育活動の対外的報告 ③学習環境の美化と整備	子ども安全連絡網による学校連絡を実施していく。学年別連絡も新たに加え、迅速な連絡網にする。達成度80%目標	B	今年は全員登録が4月にできた。しかし年度途中で連絡先変更の届けがなかったりしたため、メールが届かない場合もあった。来年度は改善し80%に上げていく。
		月2回発行のリベラルボイスで学校の様子をタイムリーに報じる。一方的な配信にならないようにする。100%目標	A	昨年同様、内容の更なる充実をはかり、保護者からの感想を書いてもらうなど一方的な配信にならないように心がけてたが90%にとどまり次年度は100%達成を目指す。
		人権新聞まあるいいのちを月1回発行していく。また、障害者施設や老人ホーム等の訪問も取り上げていく	A	人権新聞だけではなく、人権講演なども充実していきたい。今年度は障害者施設の訪問はなかったが、人権意識を高めていく。来年度も達成度80%は今年同様維持していきたい。
		生徒全員清掃の実施と個人ロッカーの整頓の徹底。点検をしっかりとすることで自覚を持たせる。達成度80%目標	B	監督に行かないと出来ない時があるので指導を徹底したい。点検表をつくり、意識付けをしていったが達成度Aには届かなかった。次年度到達度Aに引き上げたい。
		教室の床にあるラインにそって机を並べ整理に努める。個人ロッカーについても整理に努める。達成度90%を目標	A	各授業の初めにきちっと並べることを定着していきたい。個人ロッカーもテスト前などに点検日を入れていく。昨年同様、到達度はAだが80%だったので90%にしたい。
		授業充実のため各先生に模擬授業をしてもらい、お互いに講評する。一学期から取り組む。達成度80%を目標にした	B	放課後実施のため、講座・補習等があり、実施回数十分ではなかった。次年度は年度当初より計画的に、実施したい。達成度80%に引き上げ充実をはかりたい。
3. 教員人材育成	・教育研修等による指導力向上 ①模擬授業の実施と評価 ②年度課題設定とその評価 ③教員研修の実施	自ら取り組むべき課題を明らかにし、課題の達成度を評価する。クラス運営の課題を明らかにする。70%を80%に上げたい。	A	内容の更なる充実を図り、学校評価等にかかしていききたい。次年度も何とか達成度80%を実現したいが、授業・クラス運営・委員会指導にも広げていけなかったため、来年度は計画的にやっていききたい。
		年度当初に「いじめ等の研修会」を開催していく。マニュアルにそって確認していく。80%を90%に引き上げたい。	B	携帯電話についての講演・研修会を実施したが根本的な解決方法が見いだせない。保護者の協力も得て、違反行為がないように徹底したい。次年度こそ達成度80%に引き上げる。
		防犯対策の講演・研修会を開催し、危機管理の意識を高める。不審者に対するマニュアルの徹底。90%を目指した。	A	危機管理マニュアルを把握して、更なる充実をはかる。また堺警察署の協力を得て意識を高めてきたかったが、教職員全員に広げられなかった。次年度は90%に引き上げたい。
		不登校対策の研修会を開催し不登校生徒への対策を講じる。不登校生徒対応マニュアルの見直しを行う。80%目指した。	B	小学校時代からの不登校生徒への具体的な対策見いだせない。登校出来るようにケース会議を中心に、放課後対応などを持続的に指導していくことで、達成度80%を目指す。

学校長所見

本校では、授業や学習指導に関しては学校の根幹に関わる重要事項と認識し、成果が得られるよう取り組んできている。特に本校の教育の柱である表現教育・英語教育・マナー教育について追求し、指導にあたってきており、教員間に浸透してきている。たとえば英語教育では、発音指導と辞書引きの指導が徹底して行われ、外国人講師のもと日常的な会話も取り組んできている。今後は英検対策の更なる工夫を考えていき、合格率をあげていきたいと考えている。

不登校対策は難しい問題でありすぐに結果がでるものではないが、改善すべき点もあると思えるので、チームとして取り組み、少しでも改善が見られるよう取り組んでいきたいと考える。本校入学後、不登校になるというより、小学校時代から改善できず、不登校がつづいている場合が大半である。今後さらに、各市に設置している適応指導教室などを活用していくことも今後の課題として考えていきたい。人権および相手を思いやる心は、多感で急成長するこの時期にしっかり生徒達に浸透できるようさらなる工夫も必要と思われる。

進学実績では、天王寺高等学校・泉陽高等学校・富田林高等学校・住吉高等学校・泉北高等学校・今宮高等学校・八尾高等学校等の公立のトップ上位校や清風南海高等学校・四天王寺高等学校・同志社香里高等学校等の私立の難関校に合格者を出している。また、実力テスト代わりに外部試験を採用しているが、学校平均偏差値が59まで伸びてきている。習熟度による補習・対策講座の成果だと思われる。さらに充実をはかる必要があると思われる。

また、広報活動として、今までの各種ガイダンスの参加・塾訪問だけではなく、ホームページ等の充実をはかり、学校行事等のニュースを伝え知名度を広げていきたいと考えている。

学校は教育力に負うところが大きく、教員のレベル向上は学校のレベル向上に直結する。模擬授業や公開授業を通して、教員の授業力のアップをはかっていきたい。また、教員が研修する機会をふやし、研修会の結果を参加した教員だけではなく、校内研修会を充実させ、全体のものとして生かしていきたいと考える。